

「労災保険 特別加入」の記載に注意！**「事業者情報登録申請書」の加入している社会保険等の
「労災保険 特別加入」欄の注意点****「労災特別加入」欄は、どう書くの？**

労災保険(労働者災害補償保険)の事業主特別加入や一人親方労災特別加入は、自営業者(一人親方)・事業主、法人役員で現場作業をする方が個人として任意で加入するものです。

現場で作業する者が、適切に労災に加入しているのかを事業者登録で明らかにするため、特別加入の有無も記載します。

「**労災保険番号**」欄には、労災適用事業所の基幹番号を記載します。末尾は「建設」5、「製造」0、「置場・事務所」6、「建設・一人親方」8のどれかです。8以外は整理番号(枝番)があり、8は整理番号がない場合があります。この欄に「建設の雇用保険」2の番号が記載されることはありません。

特別加入をしていない場合は、記載する必要はありません。

労災の特別加入は、①従業員なし、または家族従業員だけの場合(一人親方労災特別加入、末尾番号8)と、②従業員がいる場合(事業主特別加入、末尾番号0、5、6)となります。

「**加入状況**」欄は、法人事業主・個人事業主(一人親方)が特別加入をしていないときの「無」に☑であっても、保険番号(末尾0、5、6)を記載という場合があります。

従業員がいる場合に適用する「事業主特別加入」のときは「有」に☑、労災保険番号(末尾往復0、5、6)と整理番号を記載します。

従業員のない場合に適用する「一人親方労災特別加入」のときも「有」に☑し、労災保険番号(末尾8)を記載します。

労災特別加入を裏付ける番号をしめす書類を添付します。

事業所の登録で組合活動を反映させよう**「事業者情報登録申請」の「所属団体」「表彰」で生かす**

事業所の登録申請書の3ページの5-③「所属団体」には、リカコや住宅センター(構成員に事業所を可とする場合)を記入し、組合活動で築いた成果を企業の「見える化」・施工力評価に反映させる運動につな

げましょう。

4ページの「表彰履歴」には、低建協などでの安全大会表彰など、組合活動に関連した事項を積極的に記載しましょう。

建退共の記入での注意点**「事業者情報登録申請」の「建退共」裏付け書類は・・・****裏付け書類は「建退共契約証」等**

事業者登録の申請書2ページの4-④

「建退共」の欄で「有」に☑をした場合の裏付け書類として、建退共本部から届く郵便

封筒の表紙に共済契約者番号が記載されているところから、これを添付したところ不適切とされました。理由は建退共の喪失書類

もこの封筒で送られるからとのことです。「建設業退職金共済契約者証」など**加入を証明するもの**を添付ください。

支部の動き

キャリアアップシステム、少しずつ相談がふえています

中野支部

法人の仲間の登録相談があり、説明した。従業員の登録も検討しているようです。いずれ書類がととのったら、本部に登録依頼に行くとの連絡がありました(1月16日)。

品川支部

支部の役員が登録してみたい、と支部書記局に相談がありました。わからないことがあったら本部に電話下さいね(1月16日)。

豊島支部

2019年度のうちに認定登録機関開設をめざすので、支部書記向け研修を計画している。支部の組合員には大手傘下の事業所は多くないので、CCUSの意義の理解を重視していくとのことです(1月16日)。

荒川支部

ゼネコン傘下の従業員40人程度をかかえる組合内事業所1社が、3月末までに登録したいと、相談を受けました。ネットで申請するとのことですが、困難な場合は本部への登録申請を考えているとのこと。申請

書の書き方記入説明会を開催していきたい(1月16日)。

調布支部

CCUSの意義の学習会を分会レベルでやっていきたい。今月本部が作成した学習資料を使う予定。支部副委員長の会社を登録相談中。資格をたくさん持っているので、「どけんライカ」の略称記載資格証明書が早くほしい。他の教習機関も略称で記載している場合があるので、東京土建のような対応をしてほしいとのことでした。対応する方向で検討させてください(1月16日)。

練馬支部

支部内で使う分かりやすいCCUS電話・来所対応のしかたの簡単なメモを仮につくってみた。本部で点検してほしい、との積極的な相談がありました。よろこんで対処します。けど、こちらも初めてのこと、時間がかかっている…(1月7日)。

申請書の適用除外の書き方についての注意点を次回以降、記載していきます。

就業履歴の現場蓄積の検証(1~3月)が開始される

建設業振興基金が「限定運用」の第1弾で現場公開

建設業振興基金が1月15日、現場運用の説明会を開催し、限定運用参加事業所の現場見学を実施。

その後、鹿島の赤坂5丁目プロジェクト現場などを公開。カードリーダーの設置個所には、システムへの理解度を高めるためのポスターが貼られています(建設通信新聞1月16日)。

なお、振興基金はCCUS通信第8号を発行しました。別途、配信しました。

